

Windows10、11、Windows2019 Server でのキーボード及びマウス操作を記録し、再生するソフトウェアです。

※「有償プラグイン（有償機能）の使用」及び「カスタマイズプラグインの開発または使用」をする場合、端末毎にライセンス購入が必要となります。※1

目次

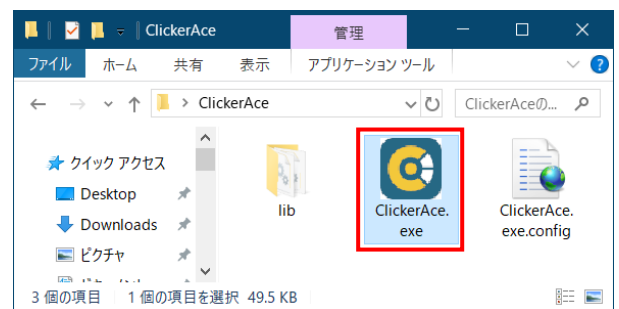
1. ClickerAce を導入・起動するには.....	1
2. 操作を記録するには.....	1
3. 記録した操作（プランファイル）を保存するには	2
4. 記録した操作（プランファイル）を再生するには	2
5. テスト再生機能について.....	2
6. 操作記録を追加または削除するには	3
7. 記録した操作（プラン）の繰り返し設定をするには..	4
8. プラグインの利用方法	4
9. 有償プラグインを利用するには.....	5
10. プラグイン一覧.....	6
【画面制御、テキスト入力】	6
【画像認識、条件分岐】	7
【メール制御】	11
【データベース（ODBC）操作】	14
11. 正しく記録・再生するための注意事項.....	17
12. システム要件.....	17
13. 免責事項.....	17

1. ClickerAce を導入・起動するには

- ① 公式サイト（ <https://clickerace.com> ）より、プログラム本体（ClickerAce.zip）をダウンロードします。

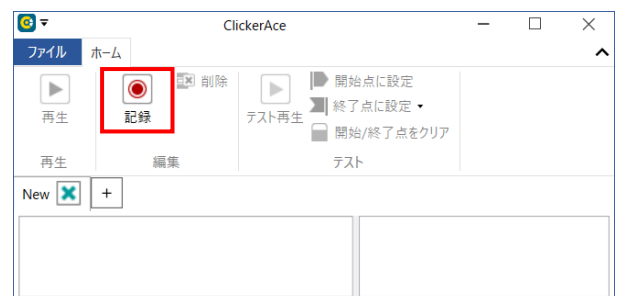


- ② ダウンロードした ClickerAce.zip のプロパティを開き、ブロックされている場合は解除します。
- ③ ClickerAce.zip を、パソコンの任意のフォルダに解凍します。
- ④ 解凍フォルダ内の ClickerAce アイコンをダブルクリックすることで起動します。



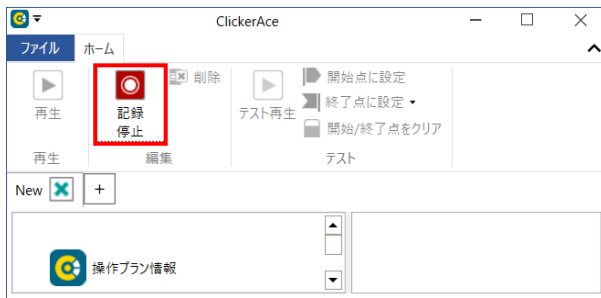
2. 操作を記録するには

- ① 記録ボタンのクリックで、操作記録が開始されます。



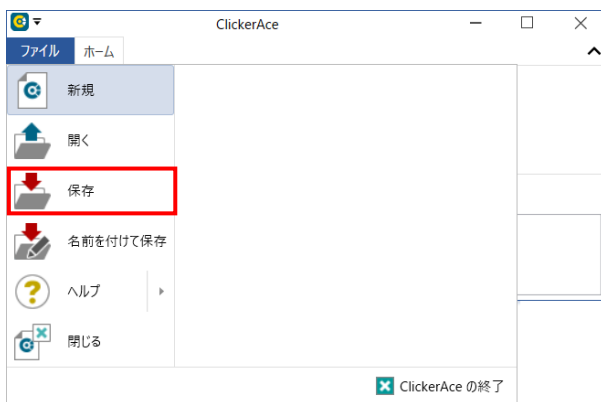
- ② 記録したいパソコン操作を実施します。
 ※ “11.正しく記録・再生するための注意事項” に、記録時の注意事項を記載しています。事前に参照ください。

- ③ 記録停止ボタンのクリックで、操作記録を終了します。

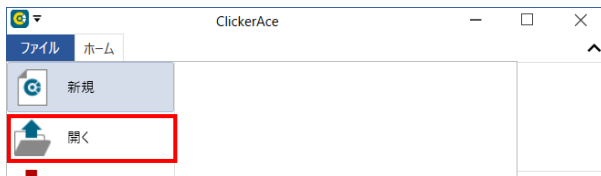


3. 記録した操作 (プランファイル) を保存するには

- ① ファイルメニューの保存ボタンから、プランファイルの保存ができます。



- ② 保存したプランファイルは、開くボタンから再度読み込むことができます。



4. 記録した操作 (プランファイル) を再生するには

- ① 再生したいプラン (操作情報) のタブを選択します。



- ② 再生ボタンのクリックで、記録した操作 (プラン) が再生されます。

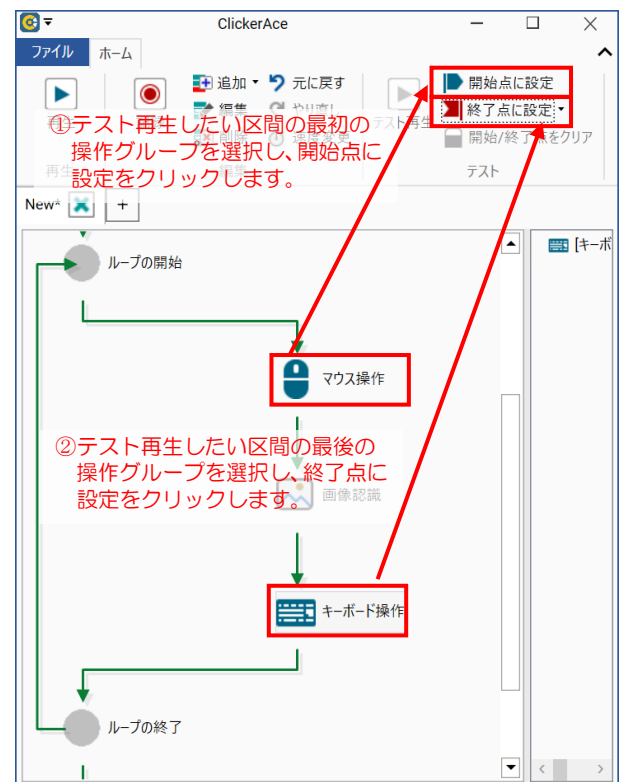


※ “11.正しく記録・再生するための注意事項” に、再生時の注意事項を記載しています。事前に参照ください。

5. テスト再生機能について

テスト再生機能を利用して、記録した操作を部分的に再生することが出来ます。

- ① テスト再生したい区間の開始点と終了点を設定します。



- ② テスト再生します。



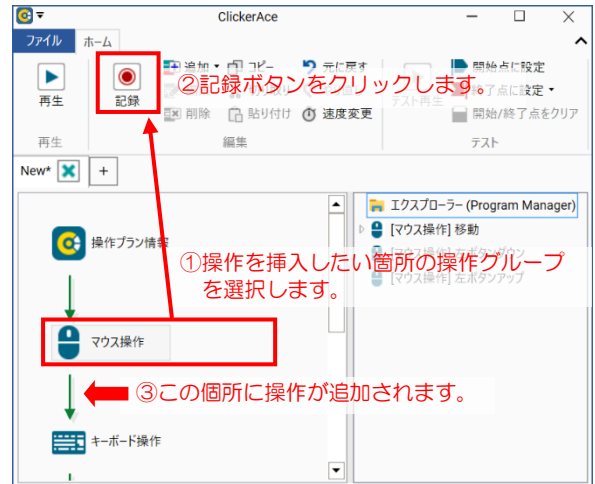
以下は、各ボタンの説明です。



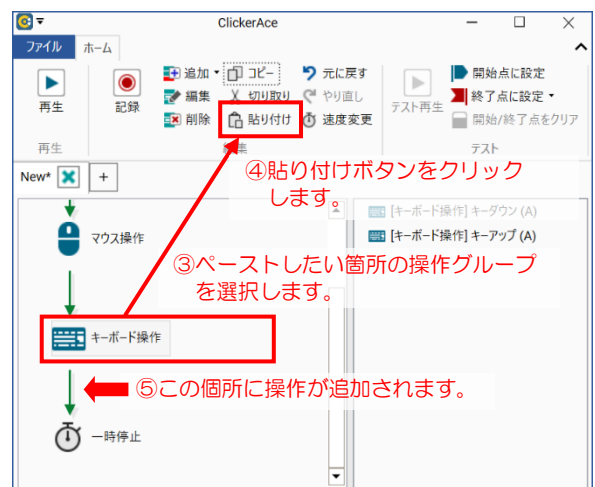
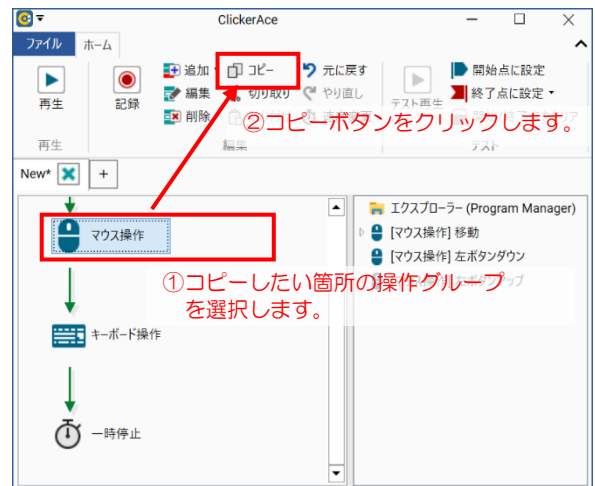
	テスト再生	開始点から終了点の操作を再生します。開始点または終了点を設定した場合にのみ利用できます。
	開始点に設定	<p>選択した操作グループに開始点を設定します。</p> <p>※ 操作グループとは、下記の破線で囲われた個々のアイコンのことです。</p>
	開始点を解除	選択した操作グループの開始点を解除します。
	終了点に設定	選択した操作グループに終了点を設定します。
	終了点を解除	選択した操作グループの終了点を解除します。
	終了点を連続設定	[終了点に設定]箇所のプルダウンから選択でき、終了点を複数選択する場合に使用します。このボタンを選択後、操作グループをクリックすると、クリックした操作グループ全てに終了点が設定されます。
	終了点の連続設定を解除	終了点の連続設定状態の場合に表示され、解除する場合に指定します。
	終了点を全てクリア	[終了点に設定]箇所のプルダウンから選択でき、終了点のみを全てクリアする場合に使用します。
	開始/終了点をクリア	開始点・終了点を全てクリアする場合に使用します。

6. 操作記録を追加または削除するには

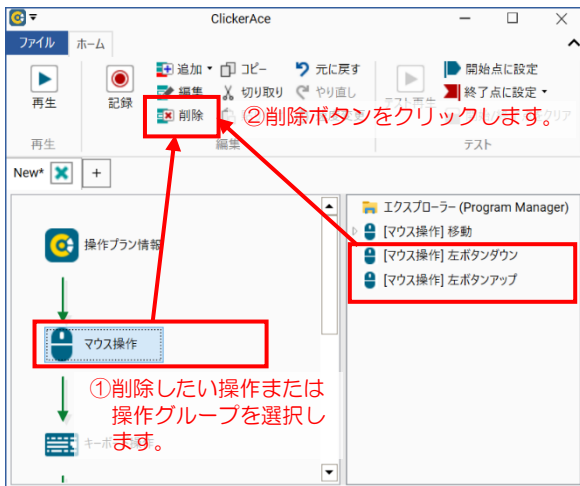
① 操作記録の記録ボタンからの追加



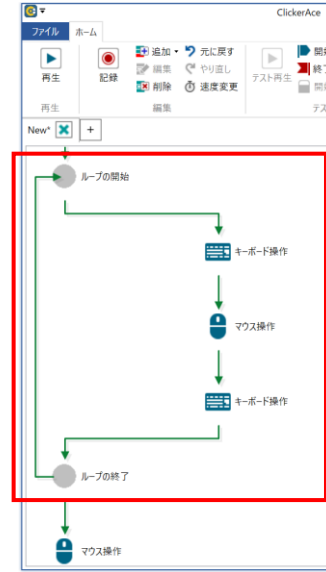
② 操作グループのコピー&ペースト



③ 操作記録の削除

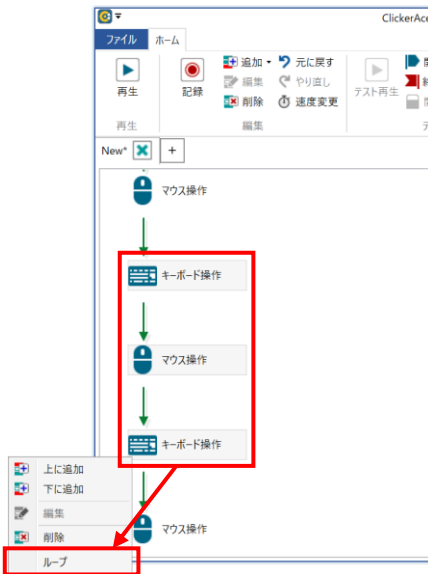


③ ループ処理が追加されます。



7. 記録した操作 (プラン) の繰り返し設定をするには

- ① 繰り返し操作させる操作グループを選択し、右クリックで表示されるメニューより[ループ]を選択します。



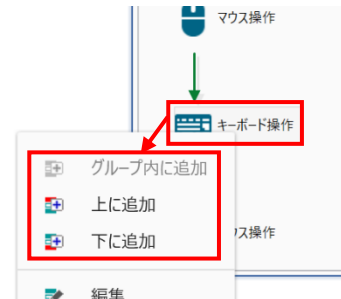
- ② 表示されたダイアログよりループ回数を指定します。



8. プラグインの利用方法

プラグインを利用することで、様々な処理を追加する事が出来ます。ここでは[一時停止]プラグインを例に解説します。

- ① プラグインを追加する前後の操作グループを選択し、右クリックで表示されるメニューより[上に追加]または[下に追加] (追加するプラグインによっては[グループ内に追加]) を選択します。



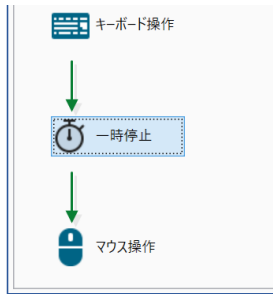
- ② 使用したいプラグイン (ここでは[一時停止]) を選択します。



- ③ プラグインに応じた設定値（ここでは[待機時間]）を設定します。



- ④ プラグイン（ここでは[一時停止]）が追加されます。



9. 有償プラグインを利用するには

一部機能は有償となっております。以下は、有償プラグイン（有償機能）の利用を有効化する手順です。

- ※ お試し目的での利用を除き、商用・非商用を問わず、有償プラグイン（有償機能）の利用にはライセンス購入が必要です。
- ※ ライセンス購入、お試しライセンスの発行は、[公式サイト](https://clickerace.com)の[サポート・製品購入]ページから行う事が出来ます。（料金の支払いは、PayPal でのみ承っております）
公式サイト：<https://clickerace.com>

- ① [公式サイト](https://clickerace.com)（<https://clickerace.com>）の[サポート・製品購入]ページにある[新規登録]ボタンより、サポート会員に新規登録します。



- ② サポート会員への登録後は、[新規ライセンス購入] ボタンよりライセンスの購入（お試し利用の場合は[お試しライセンス発行]より、ライセンスの発行）を行います。



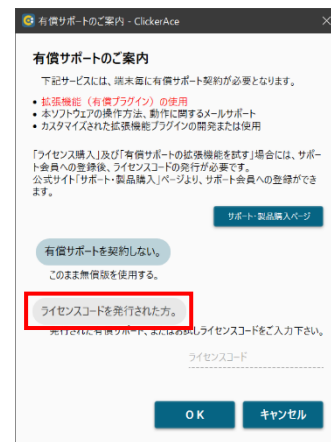
- ③ ライセンス購入後（お試し利用の場合は、ライセンス発行後）、サポート会員画面でライセンスコードを確認します。



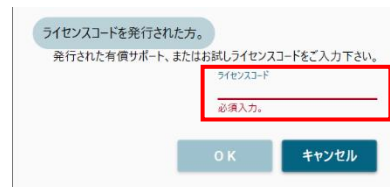
- ④ ClickerAce のファイルメニューより、[拡張機能の使用]を選択します。



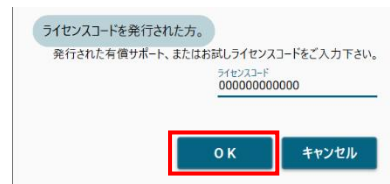
- ⑤ 表示された[有償サポートのご案内]ダイアログより、[ライセンスコードを発行された方。]を選択します。



- ⑥ 操作③で確認したライセンスコードを入力します。



- ⑦ [OK]ボタンをクリックすることで、有償プラグイン（有償機能）が利用できるようになります。



10. プラグイン一覧

※ 有償と記載されているプラグインの利用には、商用・非商用を問わず有償版の**ライセンス購入が必要**です。利用の際は、事前にライセンスを購入下さい。

【画面制御、テキスト入力】

◆マウス操作

機能概要

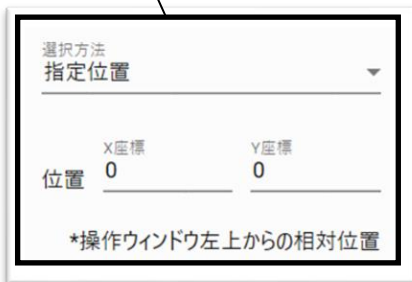
マウス操作を追加する際に使用します。「画像認識（有償）」と組み合わせる事で、設定した画像と一致した箇所をクリックさせることができます。

利用方法

移動、各種スクロール、各種ボタンクリックの操作を設定できます。



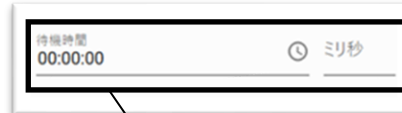
「イベント」で「移動」を選択の際に「移動方法」を指定します。「指定位置」の他に、画像認識機能を使用した際の一致画像の座標変数を選択する事も出来ます。「指定位置」を選択した場合のみ「位置 (xとy)」を設定します。



「イベント」で「スクロール」または「横スクロール」を選択の際に設定できます。

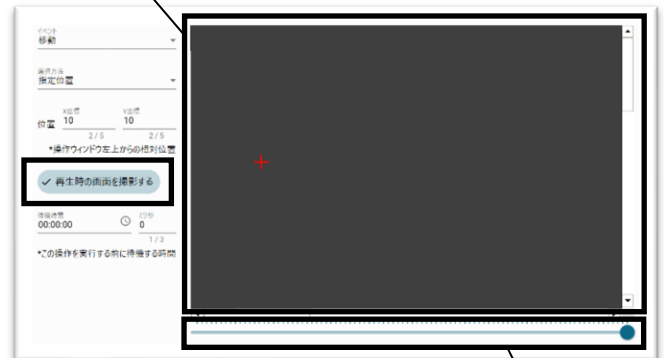


「イベント」で「X ボタンダウン」または「X ボタンアップ」を選択の際に設定できます。



ここに設定した時間、この操作を実行する前に待機します。

「再生時の画面を撮影する」を選択後に、プランを再生すると利用可能となります。再生時のマウスクリック位置が、スクリーンショットと共に表示されます。マウスクリック位置の調整時にご利用ください。



表示されているスクリーンショットの拡大率を調整できます。

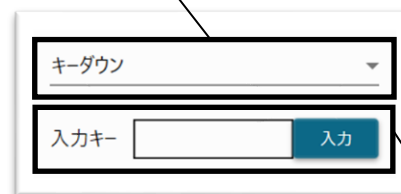
◆キーボード操作

機能概要

キーボード操作を追加する際に使用します。文章を入力する際は、「テキスト入力（有償）」プラグインの利用が便利です。

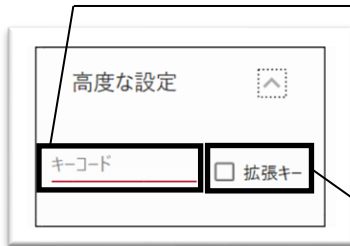
利用方法

「キーダウン」操作か「キーアップ」操作のいずれかを指定します。



[入力]ボタンクリック後、キーボードの入力設定するキーを押下します。

「入力キー」のキーコードが表示されます。
キーコードを直接指定する事もできます。
※「入力キー」の箇所から指定する場合は利用しません。



「入力キー」の拡張キーの有無を表します。

※「入力キー」の箇所から指定する場合は利用しません。
※拡張 101、102 キーボードの右 Alt、Ctrl 等を指定する場合にチェックを付けます。



ここに設定した時間、この操作を実行する前に待機します。

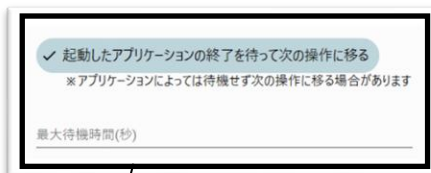
◆アプリケーション起動

機能概要

設定したプログラムを起動します。

利用方法

起動したいプログラム、起動時のオプションを設定します。



次の処理に遷移する際の待機条件を指定します。アプリケーションの終了が「最大待機時間(秒)」で指定した秒数を超えた場合、終了を待つことなく次の操作に移ります。

◆テキスト入力 (有償)

機能概要

設定した文字を入力する文字を指定します。

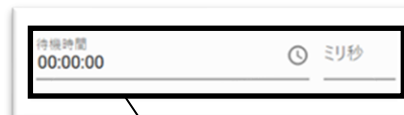
利用方法

入力する文字を指定します。



「クリップボード」を指定した場合、この処理が実行された際に、クリップボードの値がクリアされます。

「Windows API」を指定した場合、Office 製品等の一部アプリケーションで動作しない場合があります。



ここに設定した時間、この操作を実行する前に待機します。

【画像認識、条件分岐】

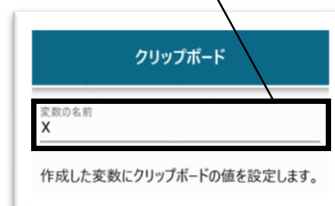
◆変数作成

機能概要

変数を作成し、クリップボードの値を設定します。変数は条件分岐等のプラグイン内で利用する事が出来ます。

利用方法

ここに設定した名称の変数名で、クリップボードの値がセットされます。



設定した変数は、後続する「条件分岐プラグイン」の条件指定等に利用する事ができます。

◆一時停止

機能概要

指定時間、処理を一時停止します。
処理の途中で待機時間を設けるときに使用します。

利用方法

ここに設定した時間、次の処理に進むまで待機します。



◆一時停止 DX (有償)

機能概要

設定した条件（指定時間経過、指定日時、または指定メール受信）まで、処理を一時停止します。

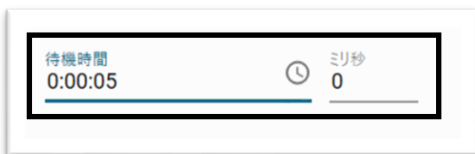
利用方法

<指定時間経過まで、処理を一時停止する場合の設定手順>

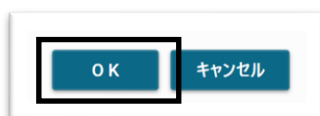
- ① 一定時間タブを表示します。



- ② 待機時間を設定します。



- ③ 決定 (OK) します。



<指定日時まで、処理を一時停止する場合の設定手順>

- ① 指定日時タブを表示します。



- ② 開始時刻を設定します。



- ③ 条件に月を指定します。(必要な場合のみ)



実行する月を限定させることができます。

- ④ 条件に週・曜日を指定します。(必要な場合のみ)



実行する週・曜日を限定させることができます。

※「月を指定」の条件と組み合わせて使用する事もできます。

- ⑤ 条件に日を指定します。(必要な場合のみ)



実行する日を限定させる
ことができます。

※「月を指定」の条件と組み合わせて使用する事もできます。

- ⑥ 決定 (OK) します。



<指定メール受信まで、処理を一時停止する場合の設定手順>

- ① メール受信タブを表示します。



- ② メールサーバの情報を設定後、接続テストを行い、正常な接続ができていることを確認します。



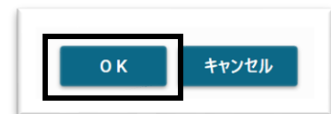
IMAP にも対応しているメールサーバー (プロバイダー) の場合、IMAP を指定することを推奨します。サーバーに大量のメールを保存している場合、POP3 を指定すると、正常に動作しない場合があります。

メールサーバに接続して、受信メールをチェックする間隔を変更できます。

- ③ 受信メールの条件を設定します。[+]ボタンで条件の追加、[-]ボタンで条件の削除ができます。複数の条件を設定した場合、その全ての条件に合致した場合に一時停止が解除されます。



- ④ 決定 (OK) します。



外部プラン実行

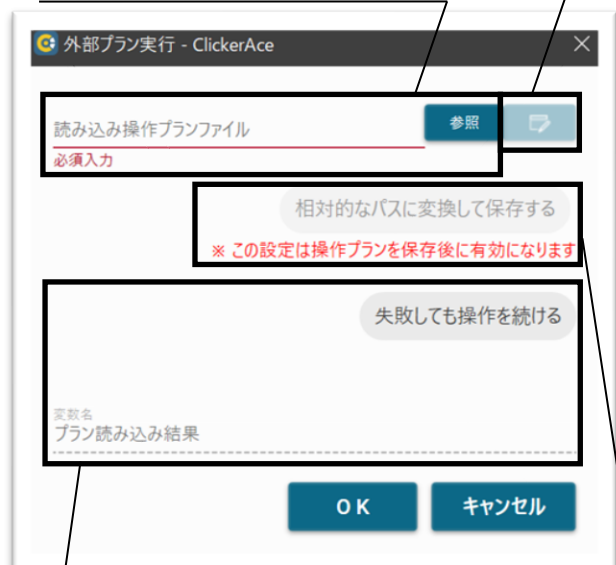
機能概要

ClickerAce で作成・保存済みのプランファイルを指定し、実行します。

利用方法

指定したプランファイル (capl) を ClickerAce で開き、編集を可能にします。

実行するプランファイル (capl) を設定します。



チェックした場合、[読み込み操作プランファイル]の項目に設定されたパスを、編集中の呼び出し元操作プランファイルからの相対位置で保存します。

チェックした場合、指定したプランファイル内でエラーが発生した場合でも、処理を継続します。処理結果は変数として[YES] (正常) または[NO] (エラー) として保存されます。

◆条件分岐

機能概要

変数（他のプラグインでの処理結果等）を判定し、条件に一致しない場合、プラン内の任意の操作グループに処理を遷移させる（読み飛ばす）事ができます。

利用方法

他のプラグインで作成した変数の中から、比較対象の変数を選択します。

「比較対象の変数」と「比較する値」との比較条件を選択します。

比較する値を入力します。文字列での比較の際は、正規表現を使用する事が出来ます。正規表現を使用する際は「正規表現」にチェックを付けます。

※ 正規表現の詳細は、Microsoft 社のサイト（正規表現 - クイックリファレンス）を参照ください。
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/dotnet/standard/base-types/regular-expression-language-quick-reference>

条件を満たす場合の遷移先

一致時操作
次の操作

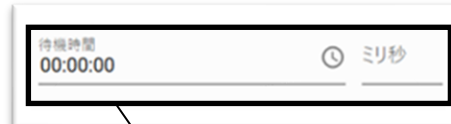
条件を満たす場合の遷移先は、次の操作です。変更はできません。

条件を満たさない場合の遷移先

不一致時操作

必須項目

条件を満たさない場合の、遷移先の操作グループを指定します。



ここに設定した時間、この操作を実行する前に待機します。

◆画像認識（有償）

機能概要

設定した画像をメインディスプレイから検索し、クリックやダブルクリックの操作、座標の取得や、検知するまでの処理の一時停止をする事が出来ます。

利用方法

検索画像（クリックさせたいボタンの画像等）を設定します。

検索画像で指定したファイルのプレビュー画面です。+マークは「変数のタイプ」で「一致画像(+箇所)の座標」を指定した場合の座標位置を示します。+マークは、クリック操作で移動できます。



画像の一致判定は、ある程度の誤差を許容します。指定した一致率以上の箇所を一致したものとみなします。

画像の一致判定を、現在のメインディスプレイで行った結果を表示します。

現在のメインディスプレイでの画像の一致判定結果です。指定した一致率以上の箇所のうち、一致率が最も高い箇所の中から、任意の1件を一致箇所とみなします。

<検索期限設定>

認識画像を見つけた際に実施する操作を指定します。

操作の選択で「変数の設定」を指定した場合、画像認識結果を格納する変数名を設定します。

操作の選択で「変数の設定」を指定した場合、クリック等の動作は行わず、画像認識結果を変数として取得します。ここではどのタイプの認識結果を取得するか指定します。「一致画像の座標」を選択した場合、マウス操作プラグイン等で、「一致の有無」を選択した場合、条件分岐等で取得変数を使用する事が出来ます。

認識画像を検索し続ける時間を指定します。検索期限内に認識画像が見当たらなかった場合、次の処理に移ります。

【メール制御】

「メールサーバ設定」「メール送信」の2つのプラグインをセットで使用します。

[メールサーバ設定]に指定したメールサーバを用いて、[メール送信]に指定した送付先・内容のメールを送信します。

[メールサーバ設定]→「メール送信」の順に追加します。

◆メール設定（有償）

機能概要

メール送信プラグインで使用するメールサーバを設定します。

利用方法

<通常のパスワード (SMTP) を利用する場合>

「通常のパスワード」を選択します。

サーバに応じた設定値を指定します。

テスト実施時は接続確認が取れた場合のみ「OK」ボタンが有効となります。

ここで設定した変数名は、後述する「メール送信」プラグインで使用します。

クリックし、設定を保存します。

<Google OAuth2 (Google サービスを使用の場合のみ利用可能) を利用する場合>

「Google OAuth2」を選択します。



リンクより、注意事項をご確認ください。



「Sign in with Google」をクリックします。



Google サービスに沿って、ログイン処理を行います。

ここで設定した変数名は、後述する「メール送信」プラグインで使用します。



クリックし、設定を保存します。

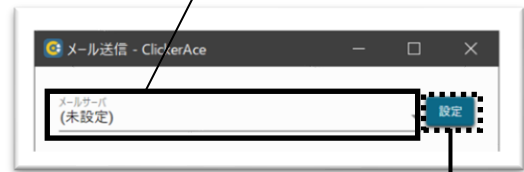
◆メール送信 (有償)

機能概要

一般的な SMTP サーバまたは Gmail のサービスを利用し、メールを送信します。
事前にメール設定プラグインが実行されている必要があります。

利用方法

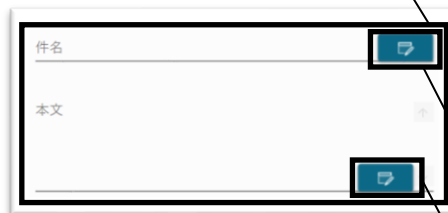
「メールサーバ設定」の「変数の設定」で指定した値を選択します。



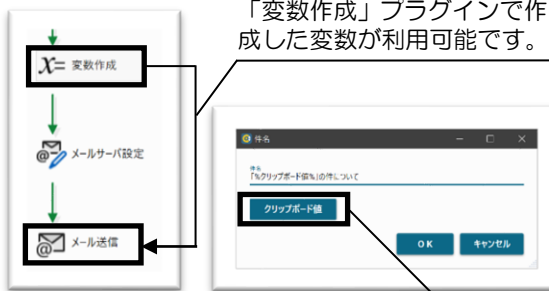
「設定」ボタンより、新たにメールサーバを設定することも可能です。



「件名」と「本文」を入力します。



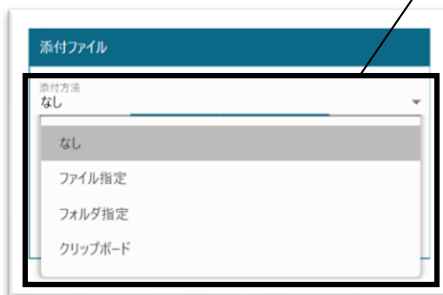
編集ダイアログを開いて入力することも可能です。
編集ダイアログでは、「変数作成」プラグインで作成した変数を、ボタンより設定できます。



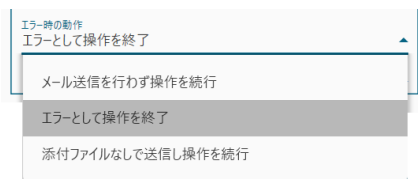
「変数作成」プラグインで作成した変数が利用可能です。

変数はボタンとして表示され、クリックにより「件名」または「内容」の任意の箇所に変数をセットできます。

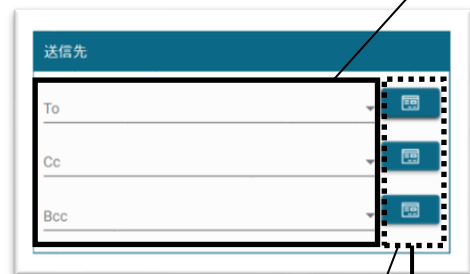
ファイルを添付する場合、添付方法を指定します。送信先のメールアドレスを入力します。



- ※ [フォルダ指定]の場合、指定フォルダ配下の全てのファイルが添付されます。
- ※ [クリップボード]の場合、実行時のクリップボードの内容が画像（または Excel、PowerPoint 等の一部のソフトウェア）の場合のみ添付されます。
- ※ 添付対象のファイル（クリップボードの画像）が存在しない場合、「添付方法」を指定後に表示される「エラー時の操作」で指定した動作が実行されます。



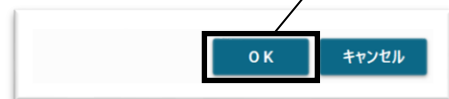
送信先のメールアドレスを入力します。変数に設定したアドレス情報（変数作成した場合にプルダウンに表示される）を利用することもできます。



複数の送信先を設定する場合に使用します。



「OK」をクリックします。



【データベース (ODBC) 操作】

「ODBC 接続設定」と、「データ出力」または「クエリ実行」プラグインをセットで使用します。

ODBC 経由で、SQL Server、Oracle、PostgreSQL、MySQL、MS-Access 等のデータベースに接続し、指定 SQL の結果を Excel ファイル等への出力（データ出力プラグイン使用時）、データベース値の更新（クエリ実行プラグイン使用時）を行います。

ODBC 接続設定 (有償)

機能概要

ODBC 経由で、SQL Server、Oracle、PostgreSQL、MySQL、MS-Access 等のデータベースに接続します。

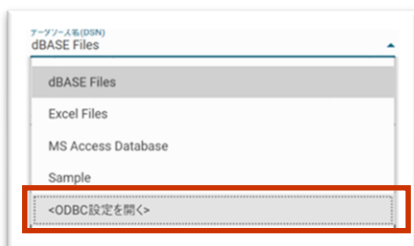
利用方法

※ 本機能を使用するには、事前に「ODBC データソースアドミニストレーター (64 ビット)」から DSN を設定しておく必要があります。

「ODBC データソースアドミニストレーター (64 ビット)」は「コントロール パネル¥システムとセキュリティ¥管理ツール」から起動できます。



プラグイン (ODBC 接続) 設定画面の「データソース名 (DSN)」からの「<ODBC 設定を開く>」の選択でも、「ODBC データソースアドミニストレーター (64 ビット)」を起動できます。



※ [データ出力]または[クエリ実行]を行うためには、[ODBC 接続設定]を事前に設定します。

ここで設定した変数名は、後述する「データ出力」「クエリ実行」プラグインで使用します。

「ODBC データソースアドミニストレーター (64 ビット)」に設定したデータソース名 (DNS) から選択します。



データソース名 (DNS) に指定したデータベースへの接続情報を設定します。

データベースへの接続確認をする場合に使用します。

「OK」をクリックします。

<[高度な設定]の[その他パラメータ]について>

データベースの種類に応じた、様々なオプション設定を行う場合に使用します。例えば、Oracle を使用の際、対象のデータベースの文字コードが Shift_JIS の場合データ出力時に文字化けが発生します。

この文字化けは、属性に「CharacterSet」、値に「UTF-8」を[高度な設定]箇所指定することで解消されます。



<[高度な設定]の[接続文字列]について>

設定した値はパスワードを除き、[接続文字列]に文字列として表示されます。接続文字列を直接編集することも可能です。



データ出力 (有償)

機能概要

指定した SQL の結果を Excel ファイルへ出力します。事前に ODBC 接続設定プラグインが実行されている必要があります。

利用方法

「ODBC 接続設定」を右クリックします。



「グループ内に追加」をクリックします。

表示された「操作追加」ウィンドウから、「データ出力」を選択します。



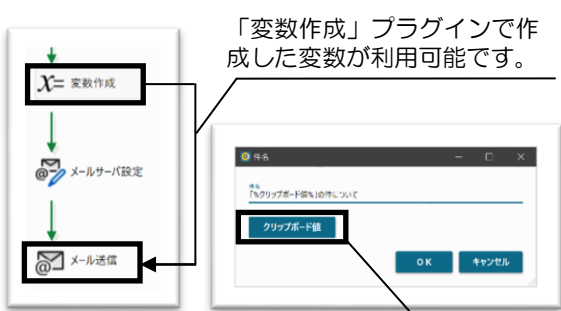
「OK」をクリックします。

「①ODBC 接続設定」の操作で「変数名」に設定した接続定義名を選択します。



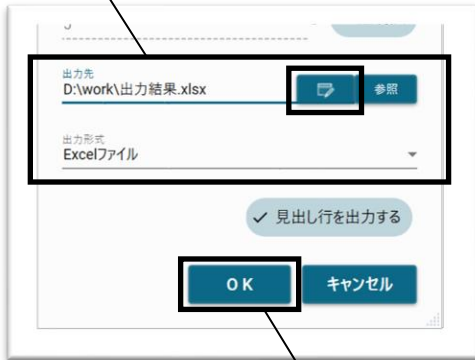
データ出力用の SQL を設定します。

編集ダイアログを開いて入力することも可能です。編集ダイアログでは、「変数作成」プラグインで作成した変数を、ボタンより設定できます。



変数はボタンとして表示され、クリックにより「SQL 文」の任意の箇所に変数をセットできます。

出力先のパスとファイル名を指定します。出力形式は Excel ファイルのみです。出力先には、SQL 文と同様に変数を利用することもできます。



「OK」をクリックします。

クエリ実行 (有償)

機能概要

指定した SQL で、データベース値の更新を行います。事前に ODBC 接続設定プラグインが実行されている必要があります。

利用方法

「ODBC 接続設定」を右クリックします。



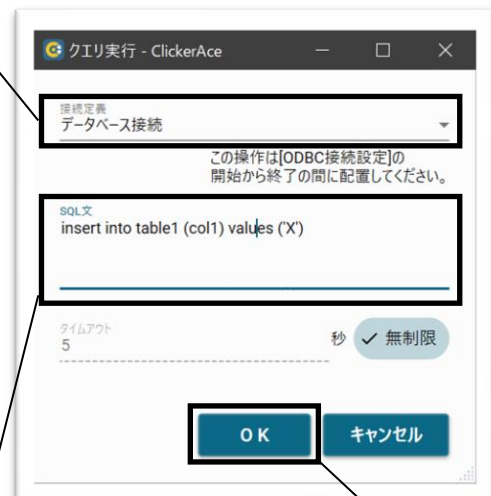
「グループ内に追加」をクリックします。

表示された「操作追加」ウィンドウから、「クエリ実行」を選択します。



「OK」をクリックします。

「①ODBC 接続設定」の操作で「変数名」に設定した接続定義名を選択します。



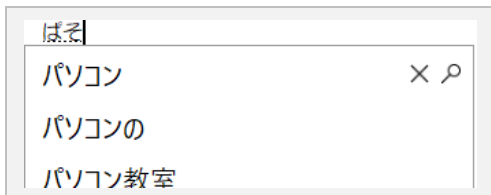
データ出力用の SQL を設定します。

「OK」をクリックします。

11. 正しく記録・再生するための注意事項

ClickerAce は、再生時に、記録時に行ったマウス操作・キーボード操作を再現させていますが、パソコンは、**記録時と全く同じ操作を行っても、必ずしも同じ結果にならない場合**があります。以下のような点に注意する事で、ClickerAce を使用して、正確に再生させることができます。

- ① 記録時と再生時で、画面解像度を揃える。
- ② 予測変換機能で表示される文字は、実行するたびに変わることがあるので使用しない。



※ テキスト入力する際は、有償でご利用できる「テキスト入力」プラグインの利用をお勧めします。

- ③ 記録時と再生時で、ソフトウェアの初期表示設定を揃える。
(揃えるべき箇所の例)
 - ✓ Office 製品のリボン表示状態
 - ✓ ブラウザのお気に入りバー等の表示
 - ✓ デスクトップのアイコンの位置

※ ウィンドウ位置・サイズは ClickerAce が補正しているので、障害になることはありません。

※ デスクトップのアイコンの位置は、今後リリース予定の画像認識機能により必要なくなります。
- ④ [Alt]+[Tab]操作での、ウィンドウの切り替えは行わない。
※ [Alt]+[Tab]操作での切り替え順は、Windows では必ずしも保証されていません。
- ⑤ ソフトウェア起動後の操作前に、時間をあける。
※ ソフトウェアの起動時間は、都度変わります。起動が遅い場合を考慮して、時間を空けておくことで正確に再生できます。
※ “一時停止プラグイン”や“画像認識プラグイン”等の利用で、プラン作成後に待機時間を追加する事が出来ます。

12. システム要件

ClickerAce の各バージョンは、リリース時の最新の Windows10、11 及び Windows2019 Server での動作をサポートします。

13. 免責事項

本ソフトウェアを利用される方は、使用を始めた時点で以下の内容に同意したものとします。同意できない場合はいかなる場合であろうとも本ソフトウェアを使用することは出来ません。株式会社オンサイト（以下著作者）は、本ソフトウェアの著作者、著作権者であり、著作権を留保しています。

本ソフトウェアにおいて使用者は、本ソフトウェアの全部または一部を改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどの解析作業や改変行為の一切を行うことを禁止します。

本ソフトウェアは、原子力関連、航空管制その他の交通関連、医療、救急関連、警備関連、その他、人の生命、身体、財産等に重大な損害が発生するような使用方法を想定したものではありません。

著作者は本ソフトウェアが、直接的、間接的、または機器や媒体等、いかなる場合に損害を生じさせても、一切の責任を負いません。また本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても一切責任を負わないものとします。

著作者は、バージョンアップ、不具合修正の義務を負いません。また、本ソフトウェアのメンテナンスやサポートを行う義務はありません。ただし、別途サポート契約を締結した場合は、契約の通りとします。

本ソフトウェアの仕様及びマニュアル等の印刷物の内容は将来予告なく変更されることがあります。

本ソフトウェアのお問い合わせ

株式会社 オンサイト

ClickerAce 公式サイトよりお問い合わせください。

<https://clickerace.com>

